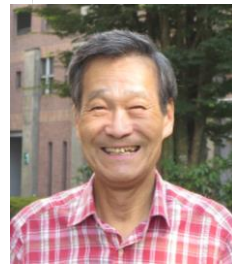


♡♡♡♡入居者インタビュー♡♡♡♡

「どんな時も“今”を楽しまなきゃ損だ！」

・・・木越一雄様 (69 歳)

～自分のことは自分で決める、そんな覚悟も必要～



＜大病から奇跡の快復＞

40 歳を過ぎた、働き盛りの真っ只中に、生死を彷徨う病気になり、家族にも大変心配をかけました。病名は、脳動脈瘤破裂。奇跡的に一命を取り留めたこの時から、私の人生観はガラリと変わり、家族のためにも、助けられた、いただいた命を大切にしたい、今を楽しまなきゃ損だ！という境地に至りました。あの時以来、この気持ちは変わっていません。

＜入居はまだ早い!? 65 歳の決断＞

ホームへ入居するなんてまだ早いのでは？という、周りからの声は多くありました。

でも、これから年を重ねる程に、体力的・精神的に弱くなるのだから、何かを決めることも変えることも難しくなってくるだろう。私たちは元気なうちに入居して、今後生活していく上での大きな安心を早く得た方が後々までいいに違いない、私はこう確信してホーム検討を始めました。

しかし、30 年以上住み慣れた土地を離れることについては、想像以上に辛かったですし、本気で悩みました。でも、この決断がこれからの人生の第一歩になる！と自分に言い聞かせ、いくつかホームに夫婦で足を運び、自分たちのペースでひとつひとつ確認し、結果として佐倉〈ゆうゆうの里〉の景観や食事に魅せられて入居を決意するに至りました。妻の叔母が、佐倉〈ゆうゆうの里〉で過ごした 15 年間に満足していたことも決断の後押しになりました。



奄美大島「あやまる岬」
今後も二人で歩きたい

＜今まで以上に“好きなこと”を通じて広がる輪＞



合吟で3位入賞！（右から2番目）にもなりましたが、佐倉に来る前からインターネットで同じ流派の詩吟教室を探し始め…今では楽しく佐倉で続けています。昇段試験という目標もあるので、張り合い、やりがいもありますし、その仲間たちとワイワイ賑やかにやれる楽しみまで増えました。これをきっかけに地域の方との交流も深まり“新たな輪”が広がってきています。

〈ゆうゆうの里〉でもいくつかのサークル等に入会しました。一緒に楽しく活動できる仲間がいるからこそ“続く”ように思いますし、仲間からの刺激はやる気や上達の特効薬なのかもしれません。これからも新しいことに挑戦しつつ「今」を楽しみたいと思います。



僕のお車は小回りが利く

楽しまなきゃ損！と満面の笑みでおっしゃる木越様。大病から奇跡的に快復できたことへの感謝と、自分の人生は自分で決める！という内に秘めた強い思いが伝わってきました。多くのお仲間たちと、これからも楽しんでいただきたいと思います。詩吟の昇段試験、こちらもワクワクですね！